

お花の栽培シリーズ「スノードロップ」

2007年9月	長月(ながつき)・菊月(きくづき)・寝覚月(ねざめつき)・晩秋(ばんしゅう)	●朝夕はめっきりと涼しくなり、秋が深まります。
<p>●植物も暑さがやわらぎ、ホッとひと息ついていることでしょう。夏の鮮やかな花壇もそろそろ終わりに近づきます。</p> <p>●台風対策もしっかりと行いましょう。</p>		
庭木の作業	<p>・10月初めまでは、常緑樹の植え替え時期です。</p> <p>・台風のシーズンに入るので、倒れないように 支柱を立ててしっかり結束しましょう。</p> <p>・下旬になると 生長がとまってくるので、手入れの時期にはいります。</p> <p>・茂りすぎた大きな木では、台風前に 枝を間引きして風あたりを少なくします。春に花の咲く花木類では、花芽のついた枝をあまり切らないようにしましょう。</p>	
草花の作業	<p>・秋まきの種の種まきをします。芽がでたところを コオロギに食べられないように注意しましょう。</p> <p>夏の草花類の種子が実るので、来年用に集めて 乾燥させ、袋につめて 空きカンにいれて 貯えておきます。</p>	

今月の誕生花	キク、フヨウ、リンドウ	
今月の花	<p>サルビア 花言葉 / 燃ゆる思い、家族愛</p> <p>サルビアという名は、ラテン語のサルビスからきています。「健康」「安全」という意味を表していますが、これは薬用に使われるセージというサルビア種の薬草だけのことであり、あとはすべて観賞用です。</p> <p>観賞用のサルビアは、花びらだけでなく、がくも苞も全部赤一色なので、緋色の衣をまとったように見えることから、ヒゴロモソウとも呼ばれています。</p> <p>「燃ゆる思い」という 情熱的な花言葉も この花色からきていと いわれています。</p> <p>秋になると 色彩豊かな園芸花が 少なくなることから、秋の終わりまで 長く咲くサルビアは、花壇を彩る花として 日本ではもてはやされています。</p> <p>ほかにも、少女たちに未来の夫を見させる力があるという、ロマンチックな言い伝えも あったようです。</p>	
<p>原産地はブラジル。シソ科サルビア属の1年草～多年草。草丈は50～100cm。開花時期は4～11月。最盛期は5～10月。葉の形状は、先のとがった卵形、対生。花色は赤・ピンク、青・紫、白。英名レイモナ(Ramona)、セージ(Sage)。別名緋衣草(ひごろもそう)</p>		

お花の栽培シリーズ

今月の花 スノードロップ

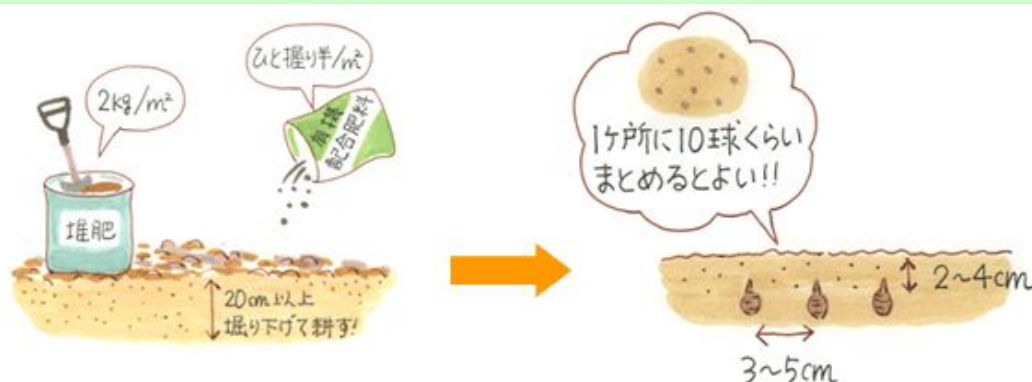
日当たり 半日陰	水やり 水を好む	気温 5~15℃	草丈 10~20cm	花色
-----------------	-----------------	-----------------	-------------------	--------

たくさんの品種があり、いずれも 内側の3枚の花びらに 黄や緑の斑点があるのが 特徴です。ある程度の 球数をまとめて ロックガーデンなどにしたり、花壇や芝生に植えると 引き立ちます。

耐寒性が 非常に強く、早春に雪を割って 可憐な花を咲かせます。植え付けには 秋~春には日当たりがよく、5月頃から 半日陰になる 水はけのよい場所を選びます。この花を 管理するうえで 気をつけなければならないことは「高温が苦手」ということです。夏期には、ワラや落ち葉で 地温の上昇を 防ぎます。寒さには 強いので、防寒の必要はありませんが、強い寒風は 避けるようにしましょう。



●種まきからの 育て方



植え付けは9月上旬から10月上旬に行います
5月あたりから半日陰になる場所を選びましょう

霜柱が立つ場所は深めにします

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花期			休眠期								
置き場所	屋外の日当たりのよい場所				屋外の半日陰/露地栽培は日よけをする						屋外の日当たりのよい場所	
水やり	1日1回、たっぷり与える				土が湿る程度に与える(5~6日に1回)						1日1回、たっぷり与える	
肥料	◎ 花後リン酸、カリ分の多い肥料を与える ※肥料は少なめに						◎ 元肥 ◎ 薄い液肥を与える					
害虫気	アブラムシの防除に、月1回薬剤を散布する											
作業	花がら摘み			掘り上げ (3年に1度)			植え付け					